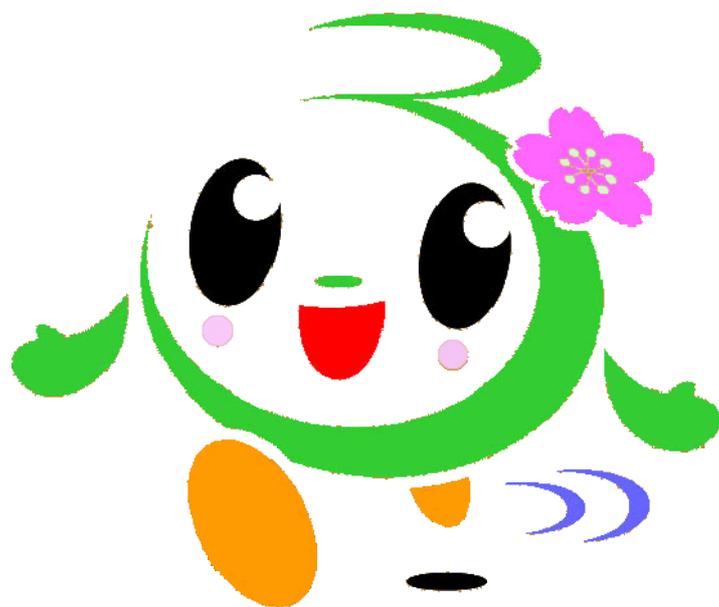


富津市次世代育成支援行動計画  
平成25年度進捗状況報告書



富津市健康福祉部子育て支援課

## 1 調査の概要について

### (1) 行動計画の進捗状況の確認・評価・公表

富津市次世代育成支援行動計画「いいじゃないか！ふっつ」は、少子化への強い危機感を逆に“力”として、“市民のパワフルな発想と行動”と“協働の精神”を基調に、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく行動計画として、平成17年4月に前期計画を実施し、平成22年4月から後期計画を実施しています。

計画に掲げた施策及び事業を効果的に推進するためにPDCAサイクル(事業計画(Plan)⇒実行(Do)⇒評価(Check)⇒見直し(Action))により、この計画の確認・評価を行い、より実効性のあるものとして推進していきます。

また、計画の取組み状況の周知を図るため、計画の進捗状況は、ホームページ上にて公表します。

### (2) 調査時期

平成26年5月7日から5月30日まで

### (3) 調査対象機関

28 関係機関（市役所 18 関係課等 外部 10 機関）

### (4) 調査内容（進捗状況調査結果一覧の確認及び記入項目）

- ① 新規事業がある場合は、追加
- ② 推進事業及び事業内容欄に追加、修正等がないか確認
- ③ 平成25年度実績欄

平成25年度の回数・人数等の数値実績や具体的な取組みを記入

- ④ 平成25年度評価欄（次のうち該当するものを記入）  
A「内容と規模を拡大」      B「内容と規模を継続」  
C「一部着手」                D「未着手」

- ⑤ 平成25年度の課題及び今後の方向性欄

平成25年度の課題及び平成26年度以降の方向性を記入

## 2 調査結果のまとめ（155 事業）

(1) 平成 25 年度新規事業 病後児保育事業、未熟児養育医療助成

(2) 平成 25 年度の評価について

A 内容と規模を拡大 12 事業

妊婦届出時面接相談・母子健康手帳の発行、療育等支援事業、国際交流協会補助事業、放課後児童健全育成事業、子育て情報誌の制作 など

B 内容と規模を継続 136 事業

C 一部着手 4 事業

なのはな子育て応援事業、ファミリーサポートセンター、福祉教育推進校、生活ゾーン規制

D 未着手 3 事業

子育てはがき通信ゆめーる事業、複合施設の整備、「母子家庭及び寡婦自立促進計画」の策定

## ●計画の施策体系

- I あかちゃんって、いいじゃないか！～子育てスタートの安心づくり～
  - 1 妊産婦・新生児の健康支援
  - 2 “親”への準備支援
  - 3 妊娠期及び小児医療の充実
- II 大きくなるって、いいじゃないか！～親子の成長の共感づくり～
  - 1 子どもの健康支援
  - 2 障がい児支援の充実
  - 3 親子の成長への応援
  - 4 子育てと就労の両立支援
  - 5 地域における子育て支援の充実
  - 6 児童虐待防止対策の推進
  - 7 生活設計の支援
- III がんばるって、いいじゃないか～子どもの生きる力づくり～
  - 1 生きる力を育む学校教育の推進
  - 2 健康に関する知識の習得
  - 3 長期欠席・不登校や学習障害児等への支援
  - 4 社会と学校との連携の推進
  - 5 子どもの居場所づくりの拡充
- IV つながるって、いいじゃないか！～世代・地域とつながる心づくり～
  - 1 地域とつながる活動の推進
  - 2 不妊治療対策の推進
  - 3 生活基盤の確立支援
- V ホットするって、いいじゃないか！～“安心温度”の高いまちづくり～
  - 1 住環境の向上
  - 2 地域安全の充実
  - 3 子育て環境の充実
  - 4 ひとり親家庭の支援

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 現 状	平 成 26 年 度 目 標	平 成 25 年 度 実 績	平 成 25 年 度 評 価	及 平 成 今 25 後 年 の 度 方 の 向 課 性 題	担 当 部 署	関 係 機 関
I	1	1	妊娠届出時面接相談、母子健康手帳の発行	母子の健康管理のため、健診や予防接種記録を含め妊娠・出産・育児に関する記録をする手帳を交付する。	低出生体重児出生数 22名 妊娠11週以下届出率上昇 77.6%	低出生体重児出生数減少、 妊娠11週以下届出率上昇	妊娠届出時面接相談 225名 母子健康手帳発行 243名 妊娠11週までの届出数 196名 (82.4%)	A	低出生体重児出生数横ばいのため、妊娠届出時に面接し保健指導及び栄養指導をする。	健康づくり課	
I	1	2	母親学級	妊娠中の母体管理と栄養管理、胎児の発育についての学習講座を開催する。	参加者実数妊婦 46名	参加者の増加	母親学級参加者 22名 (月1回実施)	B	全妊婦に妊娠届出時面接し、母親学級の内容を保健指導することで中止した。	健康づくり課	
I	1	3	新生児・産婦訪問	母子共に子育ての不安定な時期である生後28日以内の新生児・産婦へ助産師・保健師が訪問する。	訪問件数 150件 (第1子全員)	第1子全員	新生児訪問 対象者 223名 訪問者 128名 (57.4%) 産婦訪問 128名	B	希望者には全員訪問実施する。	健康づくり課	
I	1	4	乳幼児相談	乳幼児期の子育てに関することや食事等の相談、随時の電話相談、必要に応じた面接相談を行う。	随時受付	随時受付	乳幼児相談 延25名	B	引き続き随時対応する。	健康づくり課	
I	2	5	マタニティ講座	① 出産を控えた親が、保育所で実際におむつ替え、授乳、離乳食など乳幼児の一日を保育士と一緒に観察・体験する。 ② お母さん達との交流の場とし、仲間づくりを手助けする。 ③ 栄養士による栄養教室・離乳食の作り方を講習する。	年2回	継続	公立保育所 マタニティー&子育てミニ講座 2回 22組 (大人22名 子ども22名) 富津保育園 講座を開くことは出来なかったが、来園した妊婦に対し積極的に話しかけ、相談を受けたりなどした。 青堀保育園 ・ベビーフロア41回 183組 (大人183名 子ども200名) ・ベビーマッサージ17回 56組 (大人56名 子ども63名)	B	公立保育所 引き続き講座を実施していく。 富津保育園 横のつながりを作ってあげるためにも、サロン形式で出来るおしゃべり会を開きたい。 青堀保育園 ベビーの利用は、前半はあるが、冬はあまり外へ出たがらない傾向にあるので、保護者のニーズを考え取り入れていくようにする。	子育て支援課	健康づくり課
I	3	6	救急急病医療事業 (君津郡市広域市町村圏事務組合)	夜間緊急の場合でも安心して医療が受けられるように診療所を開設する。	実施	継続	継続して事業を行った。 (診療時間 午後8時～午後11時)	B	24時間対応については国・県へ要望し、市としてできることを精査する。	健康づくり課	
I	3	7	休日在宅当番医事業	休日及び年末年始における急病患者の在宅当番医を開設し、広報等で周知する。	実施	継続	当番日数 71日 受診者数 延2,330名	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
I	3	8	妊婦・乳児健診費用の助成	妊娠期（14回分）・乳児期（3～6か月・9～11か月）の健診費用を助成する。	実施	継続	妊婦健診 延 2,944名 乳児健診 延 319名	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	
I	3	9	かかりつけ医の普及	かかりつけ医の利点がわかる情報を発信する。	実施	継続	母子健康手帳等に記載し、発信している。	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	
II	1	10	2か月児訪問	2か月児全員に保健師が訪問する。	訪問実人数 212人(H20)	訪問実人数全員	対象者 223名 訪問者数 191名 (85.7%)	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	
II	1	11	育児教室 (4か月児・7か月児・10か月児・1歳児)	発達の節目の時期に、成長・発達の経過、食事、虫歯予防を学ぶ教室を開催する。	各回参加率50%未満(H20)	各回参加率50%以上	参加者 参加率 4か月児 122名 58.1% 7か月児 117名 55.7% 10か月児 95名 43.4% 1歳児 73名 32.7%	A	連続した育児支援を目指し2歳6か月児教室を開催する。	健康づくり課	
II	1	12	離乳食教室 (5か月(前期)・8か月(中期)・11か月(後期))	月齢にあった食事についての学習と食材の使い方や作り方等を実習する。	各回参加率30%未満(H20)	各回参加率30%以上	5か月 参加者92名 参加率44.4%	B	8か月・11か月教室は10か月・1歳児教室にそれぞれ1本化し、同時開催とする。	健康づくり課	
II	1	13	乳幼児栄養相談	育児教室(各回)等の事後フォローとして随時電話や個別相談を実施する。	随時受付	随時受付	86名	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	
II	1	14	1歳6か月児健診	計測・診察(内科・歯科)・相談(発達・栄養)を実施し、子どもの発育・発達を養育者と確認する。	受診率89%(H20)	受診率上昇	対象者 257名 受診者 219名 (85.2%)	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅱ	1	15	3歳児健診	計測・診察（内科・歯科）・検査（尿・視力・聴力）・相談（発達・栄養）を実施し、子どもの発育・発達を養育者と確認する。	受診率84%	受診率上昇	対象者 261名 受診者 231名（88.5%）	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	
Ⅱ	1	16	子ども発達相談	1歳6か月児健診・3歳児健診後に発達相談を行う。	年8回	年12回	年6回実施 延6名	B	療育等支援事業へ1本化したため終了。	健康づくり課	
Ⅱ	1	17	食育事業 （児童ふれあい交流促進事業「親と子の食事セミナー事業」）	健全な食事環境を通じた家族の団らんの大切さや食事の楽しさ、子どもの栄養改善、食を通じた心の健全育成を学ぶため、食事に関する講習会・実習を行い、親子・親同士の交流を図る。	マタニティ講座 3回 親子教室 3回 肥満相談 4回 子育て支援講座 1回	継続	子育て支援課 園児対象 14回 保護者対象 1回 富津保育園 ・紙芝居、パネルシアターでお話をし、楽しく食事ができるような環境を整えた。 ・野菜作り、親子で料理体験、児童による料理体験 青堀保育園 すくすくお料理教室（幼児食） 12回 40組 （大人40名 子ども42名） 和光保育園 保育参加月間中の保護者の食事体験・アンケート実施・報告・行事食（雛祭り・端午の節句・七夕・お月見等）取り入れる。餅つきを祖父母と一緒にし、お供えをする。 大貴保育園 親子クッキング教室 2回40組	B	子育て支援課 各保育所にて遊びなどを取り入れながら、食べ物についての講座を隔月実施していく。 富津保育園 保育園での食欲は良好であっても、朝食の取り方を保護者と考え、母親にとっても、楽しい朝食がとれるよう、援助して行きたい。 青堀保育園 クッキングを親子で楽しむことを継続し、食の大切さを知らせていきたい。ベビーの離乳食作りを来年度は取り入れていく。	子育て支援課	私立保育園
Ⅱ	1	18	予防接種	感染症を予防するため、予防接種を行う。	BCG接種 96.5%(H20)	BCG接種 100% 2歳までの三種混合 90% 麻疹、風疹混合 95%	BCG接種 79.0% 2歳までの四種混合 76.6% 麻疹、風疹混合 88.9%	B	接種率の向上を図る。	健康づくり課	
Ⅱ	1	19	早期療育育児支援のための連携体制の充実	子ども一人ひとりの発達状態に応じて、必要な育児支援を早期から継続して行えるように、保健・医療・福祉をはじめ保育所（園）や幼稚園との連携体制を充実する。	実施	充実	サポートが必要な子どもについて、各機関と情報交換を密に行い、療育相談等へ繋げた。	B	引き続き関係機関との連携を行っていく。	子育て支援課	健康づくり課 社会福祉課 保育所（園） 学校教育課
Ⅱ	2	20	幼児ことばの相談室	少しでも早く、ことばの訓練をすれば改善が見込まれる就学前の幼児を対象に、通所で訓練する機会を与える事業を実施する。	相談会を年2回実施	継続	7月、12月の2回実施し、計17名の相談を受けた。	B	相談件数が増加傾向にある。相談に対応できる体制を整えていく。	教育センター	社会福祉課

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
II	2	21	障がい児保育事業	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施施設数 10か所	継続	公立保育所 療育手帳所持者 1名 療育相談利用者 24名 サポートが必要な子どもに対応するために加配保育士を配置。 子育て支援課 私立保育園に対し、補助金により事業のサポートを行った。 私立保育園 療育手帳所持者 3名 療育相談利用者 9名	B	子育て支援課 巡回訪問事業や療育相談事業を通じ、職員のスキルアップを図っていく。 富津保育園 サポートが必要な子どもが増えている中で、一人ひとりにきめ細かく関わることの大変さがあり、園の負担が大きくなっている。職員の研修が必要であると考えている。	子育て支援課	
II	2	22	保育所への施設支援一般指導事業	県委託のコーディネーター及び指導員による療育技術指導を行い、障がい児の入所している保育所職員の資質の向上を図る。	実施	継続	君津特別支援学校コーディネーターに依頼し、全保育所（園）と幼稚園への巡回訪問を実施した。 また、社会福祉課が行っている療育相談等も活用し、児童への支援を図った。	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	2	23	幼稚園での障がい児受入れ	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施	継続	明澄幼稚園 1名受け入れ（肢体不自由） みなと幼稚園 受入れは可能だが、希望者がいなかった。 大佐和幼稚園 受入れは可能だが、在園児に障がい児はいない	B	明澄幼稚園 障がいの様子にもよるが、補助教諭を必要とする場合などは、3名程度が限度となってしまう。	私立幼稚園	
II	2	24	在宅生活支援事業	障害者自立支援法に基づく在宅でのサービス（居宅介護・行動援護・重度訪問介護・重度障がい者等包括支援）の利用促進を図る。	在宅介護 10人 行動援護 1人 重度訪問介護 0人 重度包括支援 0人	在宅介護 15人 行動援護5人 重度訪問介護3人 重度包括支援3人	居宅介護 6名 行動援護 2名 重度訪問介護及び重度障害者包括支援 利用なし	B	各制度の周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	
II	2	25	日中活動支援事業	障害者自立支援法に基づく日中活動サービス（児童デイサービス・短期入所・療養介護）、地域生活支援事業に基づく（地域活動支援センターⅠ型及びⅡ型） 重度心身障がい児通園施設・肢体不自由児通園施設の利用促進を図り、障がい児の日中における場を確保する。	児童デイサービス 31人 短期入所 13人 療養介護 1人 地域活動Ⅰ型 0人 地域活動Ⅱ型 0人 日中一時支援 4人	児童デイサービス 40人 短期入所 20人 療養介護 1人 地域活動Ⅰ型 3人 地域活動Ⅱ型 3人 日中一時支援 5人	放課後デイサービス 25名 短期入所 8名 療養介護 0名 日中一時支援 12名 251回 地域活動支援センター 0名 通園施設 児童発達支援（9名）	B	発達障がい者が正式に障がい者の枠組みとなり約3年になるが、今後も発達障がい児の利用増加が見込まれるため、各制度周知を図り、サービスの普及を考える。	社会福祉課	
II	2	26	施設入所支援事業	障がい児施設の施設入所支援を行う。	新規	継続	児童相談所担当である。	B	引き続き在宅生活が困難な児童の施設等への入所支援を行う。	社会福祉課	君津児童相談所

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25後年の度方の向課題	担当部署	関係機関
II	2	27	相談支援事業	地域自立支援協議会を設置するとともに、千葉県指定相談支援事業所への相談業務の委託、県が設置する中核地域生活支援センター、福祉サポートちばサテライト事業、身体障がい者・知的障がい者相談員・地域相談員の配置等障がい児に係る相談事業を実施する。	自立支援協議会 1件 県指定事業 2か所 中核地域 1か所 福祉サポート 48回 知的相談員 4人 身体相談員 4人 地域相談員 13人	自立支援協議会 1件 県指定事業 2か所 中核地域 1か所 福祉サポート 48回 知的相談員 4人 身体相談員 4人 地域相談員 13人	一般相談支援事業委託先 相談支援センター天羽 (実相談人数25名) 身体障害者相談員 2名 知的障害者相談員 4名 地域相談員 11名	B	相談支援事業については、「相談支援センター天羽」への相談機能の拡大を図る。 平成24年度より障害者自立支援法及び児童福祉法に基づく特定相談事業所及び特定障害児相談事業所を市が指定し、障害福祉及び障害児福祉サービスの相談やサービス利用計画の策定とモニタリング実施することとなる。	社会福祉課	
II	2	28	社会参加促進事業	障害者自立支援法に基づく補装具支給事業、地域生活支援事業に基づく日常生活用具給付等事業、移動支援事業、コミュニケーション事業等を実施し、障がい児の社会参加の促進を図る。	補装具 17件 日常生活用具 5件 移動支援 5人 コミュニケーション 1件	補装具 17件 日常生活用具 5件 移動支援 7人 コミュニケーション 2件	補装具支給 4名 5件 日常生活用具給付 5名 10件 移動支援事業 10名 348回 軽度・中等度難聴児 補聴器購入費助成事業 0名	B	障がい児が社会参加できるよう各制度の周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	
II	2	29	療育等支援事業	平成22年度までは、千葉県の事業として福祉サポートちばの名称で行っていたが、23年度から市の単独事業として実施。 袖ヶ浦福祉センターに委託し、臨床心理士と言語聴覚士により、毎週木曜日に市役所内及び保育所(園)、幼稚園に巡回し、発達障がい児に対する療育や言語の指導を実施する。	平成23年度新規事業	年間 言語 48回 (市役所24回：巡回24回) 療育 48回 (市役所24回：巡回24回)	<来所相談> 言語療法 25回 19人(延106人) 心理療法 55回 34人(延177人) 相談支援 24人(延24人) <巡回訪問> 言語療法 17回(延112人) 心理療法 20回(延155人)	A	庁内の関係部署(健康づくり課、子育て支援課、学校教育課)と連携し、サポートが必要な児童がスムーズに療育等支援事業を受けられるようする。	社会福祉課	
II	2	30	発達障がい児ペアレントワークショップ	千葉県発達障害者支援相談センターCASの主催により平成23年10月から全5回開催し、発達障害児を育てる保護者を5名程度のグループに分け、子育てに関する討議を行い、それぞれの親が子どもへの関わり方や子育ての研修を行う。	平成23年度新規事業	毎年2回開催 参加者 40人	1回(5回+1回のプログラム) 参加者4名	B	障がい特性を通常の子育ての延長として捉えて関われるよう、子どもを理解して親自身の負担感の少ない支援を普及していく。	社会福祉課	
II	2	31	障がい児を育てる地域の体制整備事業	障がい児を育てた経験のある方とこれから育てていく方達の交流の場を設けて、育てづらい子どもの養育について語り合う場と遊具等を整備し、親子で交流できる場を提供する。 また、研修会や講演会を実施し、障害児への理解を深める。 子どもの成長を記録するライフサポートファイル「すこやか」を作成し、生まれてくる子ども保護者全員と希望者に配布した。	平成23年度新規事業	研修会 2回/年 交流会 1回~2回/毎月	研修会 1回 193人(8月10日開催) 交流会 11回 160人	B	研修会は、保護者や支援者のニーズに合う講師・内容を考えていく。また、交流会を知らない人もいるので周知を行う。	社会福祉課 健康づくり課 子育て支援課 教育センター	
II	3	32	富津市子どもセンター事業	子どもの健全育成のために、子ども達が参加できる事業・行事・活動等の情報を提供する。	実施	継続	子ども情報誌「ネットワーク」を年3回(5,800部/回)発行し、幼稚園・保育園・小中学校・郵便局等に配布した。	B	子ども達が参加できる事業・行事・活動の情報を提供する。	生涯学習課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅱ	3	33	家庭憲章の普及事業	家庭憲章を推進し、青少年の健全育成を図る。	普及	普及	青少年相談員・子ども会・生涯学習推進大会等会議資料に添付し、普及を図った。 また、青少年相談員の活動主体を家庭憲章の推進においた。	B	青少年相談員の活動の中で家庭憲章の普及を進めていく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	34	家庭教育手引きの配布事業	県発刊の家庭教育の手引き（CD-ROM）を各小中学校及び関連部署へ配布し、活用を図る。	実施	継続	市ホームページに県のホームページの情報を掲載し、その周知を図るとともに、各小中学校へ活用の実態調査を実施した。	B	県のホームページを通じた情報を提供し、活用を図っていく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	35	家庭教育学級	地域における親世代・子世代の交流を含めた仲間づくりを目指して、親子共同（協働）学習の形態で開設し、家庭における親子関係の改善・充実を図る。	家庭教育学級 6校 参加者数 800人	継続	小学校4校・中学校2校にて実施。	B	家庭教育学級を実施するとともに、家庭教育学級未実施校への参加を促していく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	36	家庭教育指導員	家庭教育に関する相談や指導のほか、家庭教育学級の企画運営、内容の指導助言を行う。	指導員数 1人	継続	家庭教育指導員1名 家庭教育学級の企画運営や内容についての指導助言、公民館における子ども向け教室の指導助言を行った。	B	家庭教育指導員1名による家庭教育学級の企画運営や内容についての指導助言、公民館における家庭教育に関連する教室の指導助言を行っていく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	37	おはなし会	絵本の読み聞かせや手あそびを行い、本に親しむ機会を作る。	実施	継続	年間12回開催	B	引き続き事業を実施していく。	生涯学習課	
Ⅱ	3	38	教育相談事業	いじめ・不登校・引きこもり・家庭内暴力・発達障がい等の相談活動を行う。	実施	継続	随時受付を行った。 来所1件 電話8件 計9件	B	随時の相談体制を維持する。	教育センター	
Ⅱ	3	39	幼稚園での障がい児受入れ（Ⅱ-2-23 再掲）	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施	継続	明澄幼稚園 1名受け入れ（肢体不自由） みなと幼稚園 受入れは可能だが、希望者がいなかった。 大佐和幼稚園 受入れは可能だが、在園児に障がい児はいない	B	明澄幼稚園 障がいの様子にもよるが、補助教諭を必要とする場合などは、3名程度が限度となってしまう。	私立幼稚園	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向課題	担当部署	関係機関
II	3	40	幼稚園での預かり保育	通常の開園時間を超えて、幼児の受入れを実施する。	実施	継続	明澄幼稚園 利用登録者数 127名 年間実施日数 263日 年間累計利用者数 5,840名 みなと幼稚園 週5日7時～8時、15時～18時まで実施。長期休暇中は、8時～18時土日は、希望があれば実施。 大佐和幼稚園 行った。	B	明澄幼稚園 現在第1、第3、第5土曜日は13時まで実施しているが、これ以外の土曜、日曜の実施、また、保育時間の延長等について検討する。 みなと幼稚園 預かり保育担当の職員確保が困難であった。	私立幼稚園	
II	3	41	幼稚園での教育相談	保護者からの育児や教育に関する相談を受け付ける。	実施	継続	明澄幼稚園 年2回の保護者面談、アレルギーに関する相談等を実施。 みなと幼稚園 年2回個人面談を実施。また、随時登降園時に相談を受け付けている。 大佐和幼稚園 常時受け付けを行っている。	B	明澄幼稚園 園児以外の相談窓口の創設の検討。	私立幼稚園	
II	3	42	幼稚園での地域活動	施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節行事・手作り玩具制作・伝承遊び等を通じた世代間のふれあい活動を行う。また、未就園幼児や小学生との交流や中高生の就業体験の受入等、異年齢児交流活動を行う。	実施	継続	明澄幼稚園 小学校2校22名、中学校2校9名の就業体験の受入れを実施。 みなと幼稚園 小中高学校の就業体験の受入れと地域の施設訪問を行った。 大佐和幼稚園 未就園児や小学生との交流を行った。	B	明澄幼稚園 お年寄りとの交流などを検討。	私立幼稚園	
II	3	43	幼稚園での子育て支援	就園前の幼児と保護者を対象に、幼児の遊び場や同じ年齢の子どもを持つ親の集う場や相談機会を提供する。また、幼児の一時預かりも行う。	実施	継続	明澄幼稚園 未就園児預かりの実施 利用登録者数 34名 年間実施日数 221日 年間累計利用者数 2,661名 みなと幼稚園 未就園児を対象に週5回園庭開放、月一回の教室、一時預かり保育を実施している。 大佐和幼稚園 行っている。	B	引き続き事業を実施していく。	私立幼稚園	
II	3	44	各幼稚園での特色ある事業	幼稚園ごとにそれぞれ特色のある教育を推進し、幼児の心と身体の成長とともに、親子のふれあいを支える。	実施	継続	明澄幼稚園 音感教育、漢字教育、歌指導、体育指導、英語指導を専門の講師により行った。年長・年中園児を対象としてマーチングバンドを編成 みなと幼稚園 月二回の英語指導、リトミック、週一回の体育指導、図書の貸出を行っている。 大佐和幼稚園 親子のふれあいを大切にする。	B	みなと幼稚園 英語指導を月二回から週二回へ拡大する。	私立幼稚園	
II	3	45	保育所（園）・幼稚園・小学校との連携	定期的に意見交換・情報交換を行い、相互の連携体制の強化を図る。	一部実施	実施	特別支援教育推進チーム等へ参加し、情報の共有化を図り、保育士による小学校訪問を実施した。 また、特別な支援が必要とする児童の引き継ぎを小学校と行った。	B	関係機関との情報交換を密に行い、連携強化に努める。	子育て支援課	学校教育課 教育センター 私立幼稚園

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
II	3	46	子育てはがき通信ゆめーる事業	2歳未満の子を持つ保護者に対し、2歳の誕生日を迎える月まで、毎月違った内容で1通のはがきを届けて子育てに関するの情報提供を行う。	実施	継続	有料化に伴い、申込者がいなくなった。	D	保護者の現状を踏まえ、新たな方策を検討する。	子育て支援課	広域君津子育て支援連絡協議会
II	4	47	認定こども園	幼稚園にて、保育に欠ける児童の預かり保育を実施する。	1か所 みなと幼稚園	継続	補助金による運営費補助を継続。 対象園 みなと幼稚園 定員 1歳児3名 2歳児9名 年間延利用者数 1歳児25名 2歳児33名	B	平成27年度からの子ども・子育て支援新制度への対応を図り、県補助金に基づき、引き続き支援を行っていく。	子育て支援課	みなと幼稚園
II	4	48	通常保育	保護者の就労等により保育に欠ける未就学期の乳幼児を保育所で保育し、子どもの健全な育成を図る。	定員合計 1,010人(公私立)	継続	延利用者数 公立7園 2,874名(内委託 94名) 私立4園 4,646名(内委託 40名) 合計 7,520名(内委託134名)	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	4	49	土曜平常保育	保護者の土曜勤務等による平常保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。	6か所実施(私立4か所、公立2か所)	継続	公立保育所 土曜日一日保育実施園 飯野保育所 185名 中央保育所 297名 延利用者数 482名	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	4	50	延長保育	長時間保育のニーズに対応するため、11時間の開所時間前後においての時間延長を行う。	早期延長 1か所 1時間延長 1か所 2時間延長 3か所	継続	私立保育園に対し、補助金により事業サポートを行った。 私立保育園4園実施 延利用者数 15,759名	B	私立保育園に対し、国の基準に基づき支援を継続していく。	子育て支援課	
II	4	51	乳児保育事業(0歳児)	産後8週間の産休明けからの保育ニーズに対応するため、全保育所で実施する。	11か所	継続	延利用者数 公立保育所 98名 私立保育園 308名 合計 406名	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	4	52	休日・夜間保育事業	保護者の日曜・祝日勤務等による休日保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。 また、市民のニーズに応じ、夜間保育も検討する。	休日保育 私立保育園 3か所 富津保育園 青堀保育園 大貫保育園	継続及び検討	休日保育事業を行っている3園に対し、補助金による事業サポートを行った。 私立保育園 3園実施 延利用者数 927名	B	私立保育園に対し、国の基準に基づき支援を継続していく。	子育て支援課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25後年の度方の向課題	担当部署	関係機関
II	4	53	一時預かり保育事業	保護者の断続的勤務や短時間勤務等に伴う一時的な保育や、月途中での保育に欠ける児童の翌月入所までの保育ニーズに対応するため、保育所で実施する。	実施施設数 10か所	継続	公立保育所 7園実施 延利用者数212名 私立保育園に対し、補助金により事業サポートを行った。 私立保育園 3園実施 延利用者数921名 合計 1,133名	B	公立保育所は、引き続き事業を実施していく。 また、私立保育園に対し、国の基準に基づき支援を継続していく。	子育て支援課	
II	4	54	病後児保育事業	就労等により、病気やけがの回復期である児童が保育に欠けている場合の保育ニーズに対応する。	平成25年度新規事業	継続	実施している保育園に対し、補助金により事業サポートを行った。 私立保育園 1園実施 延利用者数256名	A	私立保育園に対し、国の基準に基づき支援を継続していく。	子育て支援課	
II	4	55	幼稚園での預かり保育 (II-3-40 再掲)	通常の開園時間を超えて、幼児の受け入れを実施する。	実施	継続	明澄幼稚園 利用登録者数 127名 年間実施日数 263日 年間累計利用者数 5,840名 みなと幼稚園 週5日7時～8時、15時～18時まで実施。長期休暇中は、8時～18時 土日は、希望があれば実施。 大佐和幼稚園 行った。	B	明澄幼稚園 現在第1、第3、第5土曜日は13時まで実施しているが、これ以外の土曜、日曜の実施、また、保育時間の延長等について検討する。 みなと幼稚園 預かり保育担当の職員確保が困難であった。	私立幼稚園	
II	4	56	障がい児保育事業 (II-2-21 再掲)	集団での保育可能な障がい児の保育を健常児と共に実施し、相互の社会性の向上を図る。	実施施設数 10か所	継続	公立保育所 療育手帳所持者 1名 療育相談利用者 24名 サポートが必要な子どもに対応するために加配保育士を配置。 子育て支援課 私立保育園に対し、補助金により事業のサポートを行った。 私立保育園 療育手帳所持者 3名 療育相談利用者 9名	B	巡回訪問事業や療育相談事業を通じ、職員のスキルアップを図っていく。 富津保育園 サポートが必要な子どもが増えている中で、一人ひとりにきめ細かく関わることの大変さがあり、園の負担が大きくなっている。職員の研修が必要であると考えている。	子育て支援課	
II	5	57	地域子育て支援センター	子育て家庭への支援活動の企画、調整、実施を担当する職員を配置し、育児についての相談指導、子育てサークル支援、特別保育の積極的な実施、地域の保育資源の情報提供など、子育て家庭への育児支援活動を行う。	3か所 和光保育園 2か所 青堀保育園 1か所	継続	運営費補助金によりサポートを行った。 青堀保育園 延利用者数 子ども1,483名 大人1,307名 計2,790名 和光保育園 延利用者数 子ども1,517名 大人1,776名 計3,293名 合計 子ども3,000名 大人3,083名 計6,083名	B	実施している私立保育園に対し、国の基準に基づき支援を実施していく。	子育て支援課	
II	5	58	なのはな子育て応援事業	保育所が地域子育て支援センター的な機能を発揮し、地域の子育て支援活動を行う。	3か所	継続	富津保育園 こあらっこルームは、曜日を変え、年齢を分けずにしたが、利用者が増えず中断している。 大貴保育園 4回 12名	C	富津保育園 未就園の家庭に知らせる方法を検討する。	子育て支援課	私立保育園

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
II	5	59	富津保育園自主事業 「チャイルドケアふつつ」	未就園児の親子を対象に保育園を開放し、保育園行事への参加等を通して、保育園入所児童との交流を図る。また、育児相談や育児講座を開催する。	在宅児と園児の交流 月2回	継続	児童虐待予防のための援助 6世帯 父子・外国人世帯への援助 7世帯 送迎援助 40世帯	B	家庭支援が大切であることから、園の外での支援に時間がかかる。	子育て支援課	富津保育園
II	5	60	大貫保育園自主事業 「子育てサロンこねこクラブ」	未就園児との親子を対象に、園児や職員と一緒に体操やゲームなどを楽しむ。また、育児に関する電話相談・来園相談・インターネット相談に応じる。	在宅児と園児の交流 月2回	継続	12回 8組	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	大貫保育園
II	5	61	子育て支援事業 「おやこ遊遊ひろば」	公民館の一室を開放し、未就園児の親子を対象に育児不安や孤立感、ストレスを和らげ、子育てが楽しいと感じられるような場を提供すると同時に、子ども同士の発達を図る。また、主任児童委員による子育て何でも相談を行う。	月2回 参加者数延べ 646人	月2回 参加者数延べ 800人	参加者 大人 85名 子ども 88名 ボランティア 148名	B	親子の利用者数の増加を図るため、広報・啓発を行う。	社会福祉協議会	
II	5	62	子育て支援事業 「布えほん」貸出	ボランティア布えほんメルヘンにより製作された布絵本やおもちゃを、市内幼稚園、保育園、個人及び福祉団体に貸し出す。	実施	継続	貸出し件数 51件 小物チーバ君、イチゴ、ふつつんの作成 1,500個	B	貸出箇所の拡大を図る。	社会福祉協議会	
II	5	63	「ピッコロ学級」	幼児の心身の発達や健康・栄養についての講義、遊びの実習などを通して子育てについて学び、親子・親同士の交流を図る。	実施	継続	8回 176名参加	B	引き続き事業を実施していく。	中央公民館	
II	5	64	子育てサポーターの育成	地域に埋もれている人材を発掘し、地域での子育て支援を担う子育てボランティアを育成する講座を開園し、サポーターを育成する。	サポーター登録者 20名	継続	7名 77回派遣	B	需要に応じ、サポーターの派遣を継続していく。	子育て支援課	
II	5	65	ファミリーサポートセンター	子育て家庭と子育てを支援する市民を会員として、送迎や放課後の預かりなど相互援助活動を行う組織の設置に向けて、子育てサポーターやボランティア団体等と協力しながら取り組む。	未実施	設置検討	事業化に向けた検討を行った。	C	引き続き検討していく。	子育て支援課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25後年度の方向性課題	担当部署	関係機関
II	5	66	保育所地域活動「世代間交流事業」	老人福祉施設への訪問、あるいは施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節的行事など世代間のふれあい活動を行う。	実施回数 30回 実施施設数 10か所	継続	祖父母との交流 児童の祖父母と伝承遊びや伝統文化を教えてもらうなどした。 9施設10回 地域高齢者との交流 地域のお年寄りから風習などを教えてもらう。 2施設 3回 施設訪問交流 老人ホームなどの施設を訪問し、歌や遊戯などの披露や手遊びなどを一緒に遊ぶ 7施設11回	B	富津保育園 行事が多くなることの負担を検討する。 青堀保育園 祖父母の住居地が遠方であったり、祖父母の就労率が高く、参加者が少数に限られてしまう。	子育て支援課	私立保育園
II	5	67	幼稚園での教育相談（II-3-41 再掲）	保護者からの育児や教育に関する相談を受け付ける。	実施	継続	明澄幼稚園 年2回の保護者面談、アレルギーに関する相談等を実施。 みなと幼稚園 年2回個人面談を実施。また、随時登降園時に相談を受け付けている。 大佐和幼稚園 常時受け付けを行っている。	B	明澄幼稚園 園児以外の相談窓口の創設の検討。	私立幼稚園	
II	5	68	幼稚園での地域活動（II-3-42 再掲）	施設や地域のお年寄りを招待し、劇・季節行事・手作り玩具制作・伝承遊び等を通じた世代間のふれあい活動を行う。また、未就園幼児や小学生との交流や中高生の就業体験の受入等、異年齢児交流活動を行う。	実施	継続	明澄幼稚園 小学校2校22名、中学校2校9名の就業体験の受入れを実施。 みなと幼稚園 小中高等学校の就業体験の受入れと地域の施設訪問を行った。 大佐和幼稚園 未就園児や小学生との交流を行った。	B	明澄幼稚園 お年寄りとの交流などを検討。	私立幼稚園	
II	5	69	幼稚園での子育て支援（II-3-43 再掲）	就園前の幼児と保護者を対象に、幼児の遊び場や同じ年齢の子どもを持つ親の集う場や相談機会を提供する。また、幼児の一時預かりも行う。	実施	継続	明澄幼稚園 未就園児預かりの実施 利用登録者数 34名 年間実施日数 221日 年間累計利用者数 2,661名 みなと幼稚園 未就園児を対象に週5回園庭開放、月一回の教室、一時預かり保育を実施している。 大佐和幼稚園 行っている。	B	引き続き事業を実施していく。	私立幼稚園	
II	5	70	園庭開放	安全性に配慮しながら、保育所（園）や幼稚園の園庭開放を実施する。	公私立保育所（園） 11園 幼稚園 3園	継続	公立保育所 利用組数 141組 （大人141名 子ども172名） 私立保育園 利用組数 438組 （大人438名 子ども485名） 合計579組 （大人579名 子ども657名） 私立幼稚園 明澄幼稚園 小学生マーチングバンドへの園舎園庭の開放。年間24日 延利用者192名 みなと幼稚園 毎日8時～10時まで未就園児に園庭開放を行っている。 大佐和幼稚園 行った。	B	公立保育所 ホームページや広報などで周知を図っていく。 富津保育園 芝生ということもあって、土日の利用者が多かった。 青堀保育園 園庭を利用しても良いことを誰がみても分かるように表示していく。	子育て支援課 私立幼稚園	私立保育園

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向課題	担当部署	関係機関
II	5	71	主任児童委員	児童の福祉に関する活動及び児童の福祉に関する機関と民主児童委員との連絡調整を行う。	委員6名(各地区2名)	継続	子育て支援課 主任児童委員定例会議等に参加。 富津・大佐和・天羽各2名H25.12新たに委嘱。 社会福祉協議会 子育てなんでも相談 24回 相談活動の啓発活動 12回 (1歳6か月健診時) 富津市障害者自立支援協議会こども部会 12回出席(1名) 研修参加 3回 10名参加 定例会議の開催 年4回	B	子育て支援課 定例会議等に参加し、引き続き連携を図っていく。 社会福祉協議会 児童虐待等ケースに関する情報共有のさらなる強化及び関係機関との連携を強め、児童とその世帯への支援及び相談活動の強化を図る。	子育て支援課 社会福祉協議会	
II	5	72	おひさま広場事業	主に乳幼児を持つ親子が気軽に集い、温かい雰囲気の中での交流、育児相談、子育て情報の提供を行う。	公立保育所で実施	継続	移動型(保育所実施) 110組 233名参加 市役所ホール実施 63組 132名参加 計 173組 365名	B	チラシやホームページなどを活用し、広く参加者を呼びかけていく。	子育て支援課	
II	5	73	複合施設の整備	図書館、福祉センターの機能を併せ持つ複合型施設の整備について検討を進める。	整備基本計画策定	具体化	造成設計及び整備基本計画を基本に、複合施設の整備について検討を進める。	D	造成設計及び整備基本計画を基本に、複合施設の整備について検討を進めていく。	生涯学習課	
II	5	74	移動図書館	移動図書館車両を更新したことによる積載蔵書冊数の増加等、図書貸出しサービスの充実を図り、もって市民の生涯にわたる学習の向上を図る。	実施	継続	16か所を月2回巡回した。	B	移動図書館による図書貸出しサービスの充実を図る。	生涯学習課	
II	6	75	家庭相談員	児童育成の基盤である家庭における人間関係の健全化及び児童の適正な養育等、家庭児童福祉に関する相談指導の充実を図る。	配置相談員 1名配置 実施相談数 週2回	継続	相談員が週2回出勤し、児童虐待相談や家庭相談に対応した。 相談件数 183件	B	電話相談、面談、家庭訪問により家庭支援を継続していく。	子育て支援課	
II	6	76	富津市要保護児童対策地域協議会	地域において児童と接する機会のある関係機関及び団体等と連携を図り、総合的視点から早期に児童虐待の予防・防止活動を展開する。	設置	継続	代表者会議 1回 実務者会議 6回 他機関が主催するサポート会議等にも出席し、関係機関との連携を図った。	B	各機関との連携窓口として、今後も連携強化を図っていく。	子育て支援課	
II	7	77	妊婦・乳児健診費用の助成(I-3-8 再掲)	妊娠期(14回分)・乳児期(3~6ヶ月・9~11ヶ月)の健診費用を助成する。	実施	継続	妊婦健診 延 2,944名 乳児健診 延 319名	B	引き続き事業を実施していく。	健康づくり課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
II	7	78	児童手当	子どもを養育している保護者の生活安定と子どもの健全育成を目的に、中学校修了前まで支給する。	実施	拡大	児童数4,570名の保護者等2,783名に対し支給した。	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	7	79	子ども医療費助成	中学校就学前の子どもが入院や通院した場合、保護者へ医療費の自己負担金を助成する。	実施	拡大	現物給付（受給券）により中学校3年生まで助成を行った。 受給券保持者 4,852名 助成延件数 63,220件	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	7	80	未熟児養育医療助成	出生時の体重が2,000g以下、または身体の発達が未熟なまま出生し、入院治療を必要とする乳児の医療費を助成する。	平成25年度新規事業	継続	平成24年度までは県事業であったが、平成25年度より市へ移管された事業である。 助成人数 4名 助成延件数 14件	A	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
II	7	81	各種手当給付事業	特別児童扶養手当・障がい児福祉手当・難病患者見舞金を20歳未満の重度の障がい児や難病患者に給付する。	実施	継続	特別児童扶養手当 72名 障害児福祉手当 17名 難病患者見舞金 28名	B	各制度の周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	
II	7	82	各種医療費等助成事業	障がいのある児童に対し、自立支援医療（育成医療・精神通院医療）、重度心身障害者医療費助成、精神障害者医療費助成、難病患者の医療費助成、小児慢性疾患等低疾患の医療費助成を行う。	実施	継続	育成医療 6名 精神通院医療 10名 重度医療 25名 精神医療 11名 難病医療 保健所担当 小児医療 保健所担当	B	各制度の周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	
II	7	83	各種割引制度	障がいの程度によって公共料金や交通機関料金等の割引を実施する。	実施	継続	手帳取得者等に関して割引制度の周知を図り、割引を実施した。	B	各制度の周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	
II	7	84	小児慢性特定疾患治療研究事業	児童の慢性疾患は長期にわたるため、その治療費の自己負担を公費で負担する。	実施	継続	受給者 31名	B	引き続き事業を実施していく。	君津健康福祉センター	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 現 状	平 成 26 年 度 目 標	平 成 25 年 度 実 績	平 成 25 年 度 評 価	及 平 成 今 25 後 年 の 度 方 の 向 課 性 題	担 当 部 署	関 係 機 関
II	7	85	児童扶養手当	父又は母と生計を同じくしていない18歳の年度末までの児童を持つ父、母又は養育している方に支給する。	実施	拡大	資格者数 343名 受給者数 314名 (内父13名養育者2名) 対象児童数 442名	B	受給資格の確認などを厳密化し、引き続き適正な処理を行っていく。	子育て支援課	
II	7	86	ひとり親家庭等医療費の助成	ひとり親家庭に対して医療費の一部を助成する。	実施	継続	受給資格者数 807名 (内父子家庭21名) 受給者数 251名 (内父子家庭 3名)	B	受給資格の確認などを厳密化し、引き続き適正な処理を行っていく。	子育て支援課	
II	7	87	母子・寡婦福祉資金貸付	母子家庭・寡婦の福祉向上のための資金を貸付ける。	実施	継続	君津健康福祉センター 就学支度資金 0件 子育て支援課 相談件数 母子福祉資金 12件 寡婦福祉資金 1件	B	子育て支援課相談を受けたら、君津健康福祉センターへの円滑な引き継ぎを行っていく。	君津健康福祉センター 子育て支援課	
II	7	88	遺族基礎年金	年金の保険料を納めている時に本人が死亡し、扶養されていた妻に18歳未満の子がいた場合に、遺族年金を支給する。	実施	継続	受給者なし	B	引き続き事業を実施していく。	市民課	木更津年金事務所
II	7	89	交通遺児等手当	中学生以下の交通遺児に対して手当を支給する。	実施	継続	受給者なし	B	引き続き事業を実施していく。	市民課	
II	7	90	私立幼稚園就園奨励費の助成	保護者に対し、保育料等の助成を行う。	実施	継続	助成者数 351名 助成総額 33,016,900円	B	所得に応じた保護者の経済的な負担の軽減を図り、幼児教育の一層の振興を図りたい。	学校教育課	
II	7	91	保育料3子目無料化	3人の子が保育所(園)へ入所している場合、3人目の子に対しては保育料を無料とする。	実施	継続	延該当者 168名	B	引き続き実施していく。	子育て支援課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅲ	1	92	外国語指導助手(ALT)	小中学生が「生きた英語」を学習することにより、異文化理解や国際理解教育を推進する。	指導助手 3人	指導助手4人へ拡大	3名のALTを雇用し、小学校・中学校に隔週で指導できるよう配置した。小学校外国語活動・中学校の英語教育で有効活用された。	B	雇用形態が委託となっており、学校内での活用に不便を感じているため、雇用形態の見直しをする。	教育センター	
Ⅲ	1	93	道徳教育	心に響く道徳教育推進のため、「体験活動の充実」・「心のノートの活用」・「学校・家庭・地域との連携」などに取り組む。	児童生徒全員	継続	全校道徳や道徳集会在定している学校もあるなど、道徳教育は各学校とも力を入れている。また、地域の方を招いたり、公開授業を行ったりして啓発も図っている。	B	生命尊重の精神や適切な判断力の育成に重点を置きながら、引き続き道徳教育に力を入れていく。	教育センター	
Ⅲ	1	94	国際交流協会補助事業	富津市国際交流協会が行う国際社会や多文化共生への理解を深めるための活動に対し助成する。	実施	継続	世界の料理をつくる会・ニューイヤーフェスタの開催、さらに協会活動を広く知らしめることで、より多くの青少年の交流機会を創出するため会報を2回発行した。カールスバッド市を訪問し、姉妹都市交流25周年を記念する桜の木の植樹祭に出席、今後の青少年交流の発展につながる訪問となった。	A	小中学校の国際理解が進むよう、新たな取組みを検討し、実践できるよう事務局として支援を行う。	企画政策課	富津市国際交流協会
Ⅲ	1	95	教育センター	教職員の指導力向上への研修活動とともに、教育相談を実施する。	実施	継続	夏季研修講座 10講座 参加者延322名 教育相談講座の開催と共に、社会福祉課との合同研修も行い、児童生徒理解の力量向上に努めた。	B	教職員のニーズにあった研修を計画し、力量の向上に努める。	教育センター	
Ⅲ	1	96	情報教育	コンピュータ室等の整備・充実を図る。情報活用能力の育成を図る。	実施	継続	各校の担当者会議を2回開催し情報管理について周知。夏季講座として4講座開催し、スキルアップを図った。	B	中学校は新しい機器のへの入れ替えを行う。ICTを活用した情報教育の推進に向け、研修会等を通して、教員スキルアップを図る。	教育センター	
Ⅲ	1	97	小中連携教育推進事業	市内全中学校区を研究指定し、ふるさと富津を担う児童・生徒を育成する。	実施	充実	研究指定という枠は外したが、各中学校区ごとに連携の取り組みを継続している。学力向上・体力向上・生徒指導等の取り組みを共通理解を図りながら進めている。	B	各学校区での学力向上の取り組みを中心にしながら、それぞれの地区に合わせた取り組みを継続していく。	教育センター	
Ⅲ	1	98	福祉教育	関係機関と連携し、自他の生命の尊重や思いやる心の育成を図る。	実施	充実	各学校とも道徳・総合的な学習の時間、各教科と関連させながら福祉教育の取り組みを進めている。また、身近にある施設と交流を図っている学校もある。	B	各学校の実態に応じて、今後も各教科等と関連させながら充実を図る。	教育センター	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25後年度の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅲ	1	99	福祉教育推進校	市内全小中学校の児童・生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を深め、ふれあいと支え合いによる地域連帯の心を育成するために各種交流事業等への取り組みに助成するほか、福祉体験学習への講師を派遣する。	実施	継続	市内小学校12校、中学校5校へ福祉教育助成金を助成 3校に体験学習講師派遣	C	福祉教育助成金の内容を検討するとともに、児童・生徒に対して大規模災害時の対応についての研修を実施する。	社会福祉協議会	
Ⅲ	1	100	教科指導員	教職員の指導力向上を図り、よりわかる授業を推進する。	実施	継続	教科指導に関して50件を超える要請があり指導助言を行った。また、2年目教員研修として若年層の指導にも力を入れている。	B	各学校の要請により、派遣を継続している。	教育センター	
Ⅲ	1	101	小中学校校舎等施設耐震化整備事業	市内小中学校17校61棟の内、新耐震基準を満たさない昭和56年以前に建築された42棟に対して耐震診断を行い、耐震性がないと診断された建物について補強工事を実施する。	耐震診断 12校24棟 補強設計 4校 6棟 補強工事 3校 4棟	事業終了	補強設計 4校 4棟	B	平成25年度末で当該事業は終了。今後は校舎等の老朽化改善のための大規模改修工事に向けた動きへシフトしていく。	庶務課	
Ⅲ	2	102	小学校体育科・中学校保健体育科における健康教育の実践	小中学校を通じて、子ども達の発達段階を踏まえて、自らの健康を適切に管理し改善する資質や能力を育成する。	全小中学校実施	継続	各学校と保健指導の中で、年間計画に位置づけながら、生活習慣・食生活・身体の成長などについて、子どもの発達段階に応じて実施した。食育指導と関連を図って実施している学校もある。	B	今後も各学校において、年間指導計画に従って実施していく。	教育センター	
Ⅲ	2	103	「薬物乱用防止教室」の実践	学校行事等で「薬物乱用防止教室」を開催し、警察等の協力を得て基本的な知識を習得する。また、保健体育科で指導計画に基づく学習を養護教諭と共に進める。	全小中学校実施	継続	全小中学校において外部機関の協力を得ながら、授業として、あるいは行事として実施した。	B	外部機関との連携を生かしながら薬物乱用防止教室の開催を継続する。	教育センター	
Ⅲ	2	104	学校保健委員会	児童生徒の健康づくりを推進する組織として、学校での健康に関する問題を研究・協議する。	実施	継続	中学校区で合同の学校保健委員会を開催する等、全小中学校で年に数回保健委員会を開催した。委員会では児童・生徒の健康・生活等の課題解決にあたり、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の指導・助言に基づき、具体的方策を協議し、健康教育の一層の推進を図った。	B	学校医・学校歯科医・学校薬剤師と学校職員のさらなる連携の在り方、他校との情報交換等々により、一層の充実を図りたい。	学校教育課	
Ⅲ	2	105	食育の実践	次世代を担う小・中学生に正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるように、体験学習や学校栄養職員とのチームティーチングによる食育を各学校と情報交換しながら進める。	全校区実施	継続	栄養教諭・学校栄養職員により、延115回の授業が展開された。富津市の栄養士会による食育の実践が、各校において有効に行われている。	B	各学校の実態に応じた食育の実践を継続し、栄養士会の協力を今後も仰いでいく。	教育センター	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25後年度の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅲ	3	106	特別支援教育連携協議会運営事業	LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥/多動性障がい）、高機能自閉症を含め、障がいのある児童生徒一人ひとりに適切な教育と指導を行う体制を整える。	全小中学校を対象に実施	継続	推進チームにより全小中学校の学校訪問を行い、支援・援助を行った。その実態把握を基に連携協議会を年3回開催し、支援の在り方、保護者への啓発、ライフサポートファイルの活用、各機関との連携等について話し合った。	B	センター主催の研修会とも関連させ、児童・生徒理解を深めると共に特別支援教育の重要性について啓発していく。	教育センター	
Ⅲ	3	107	スクールカウンセラー	いじめや不登校等、児童生徒、保護者の相談に応じるため、スクールカウンセラーを配置する。	全中学校配置 小学校には巡回・要請に応じて	継続	5中学校に各1名配置。相談件数は延約1,400件。相談者延約1,600名に対してカウンセリングを行った。	A	カウンセリングの必要性は増しているため、今後も事業を継続していく。	教育センター	
Ⅲ	3	108	不登校児童生徒の適応指導	指導員2名により適応指導教室を実施する。同時に学校・適応指導教室・関係諸機関とのネットワークにより、不登校児童生徒への総合的な対策を行う。	指導員 2人	継続	相談員2名配置。 平成26年3月末現在、在籍生徒5名。中学校3年生の2名は高校進学を果たした。	B	学校と連携し、学校復帰の視点を大事にしながら、事業を継続していく。	教育センター	
Ⅲ	3	109	問題を抱える子ども等の自立支援事業	自立支援指導員4名を小中学校に配置し、不登校児童生徒やいじめ・児童虐待等の問題行動の未然防止や早期発見・早期対応を行う。	指導員 4人	実施	自立支援指導員4名を7小中学校に配置。児童生徒の長期欠席の改善や問題行動等の未然防止に向け、指導・対応を行った。年6回の情報交換会を実施した。中学校での準長期欠席は大きく減少している。	B	未然防止に力を入れながら、長期欠席や問題行動への早期発見、早期対応を行う。	教育センター	
Ⅲ	3	110	はまかぜ教育相談	専門医による教育相談を実施し、児童の悩み・不安・問題行動について専門的な立場からカウンセリングを行う。	実施	継続	専門医による教育相談。8回開催し、8名の相談者であった。	B	専門医による教育相談を継続し、児童・生徒の心理的不安や問題行動等への対応を行う。	教育センター	
Ⅲ	3	111	早期療育育児支援のための連携体制の充実 （Ⅱ-1-19 再掲）	子ども一人ひとりの発達状態に応じて、必要な育児支援を早期から継続して行えるように、保健・医療・福祉をはじめ保育所（園）や幼稚園との連携体制を充実する。	実施	充実	サポートが必要な子どもについて、各機関と情報交換を密に行い、療育相談等へ繋げた。	B	引き続き関係機関との連携を行っていく。	子育て支援課	健康づくり課 社会福祉課 保育所（園） 学校教育課
Ⅲ	4	112	「まちの先生制度」の活用	幼児、小中学生に対して優れた技能や知識を持った地域の人材を活用した教育を推進する。	実施	継続	「まちの先生」登録者数は115名で、利用件数は82件であった。	B	「まちの先生」の活用を推進する。	生涯学習課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
Ⅲ	4	113	学校評議員制度	学校・家庭・地域と連携協力した学校づくりを推進するため、学校評議員制度を活用し、地域に根ざした学校教育を推進する。	全小中学校	継続	17全小中学校で、延82名の学校評議員を委嘱した。特色ある教育活動を展開するため、校長の計画により年数回実施し、学校運営や教育活動について意見交換を行った。	A	学校評議員制度も全市への導入から8年が経ち、制度そのものの定着が図られてきた。各学校の教育の特色化が図られるなど、実績も上がっている。今後は評議員会の持ち方についての研修等を充実させたい。	学校教育課	
Ⅲ	4	114	学校施設の有効利用	学校施設の地域開放に向けて、各学校で必要に応じて関係機関と相互調整し有効利用を図る。	全校で実施	充実	学校教育課 各学校が必要に応じて関係機関と調整し、有効利用が図られた。 庶務課 飯野小学校・大貴小学校・佐貴小学校 各学校の普通教室2部屋を学童保育として使用している。	A	今後は、防災用品の備蓄等への空きスペースの活用等も図りたい。	学校教育課	
Ⅲ	4	115	PTA連絡協議会	学校・家庭・地域の連携体制をより強めるため、その活動に対し補助金を交付する。	年1回	継続	常任委員会 3回 広報研修会 1回 バレーボール大会 1回 視察研修 1回 学校・家庭・地域の連携体制を図った。	B	PTA連絡協議会を通じた学校・家庭・地域の連携体制を図るための活動に対して補助金を交付する。	生涯学習課	
Ⅲ	4	116	青少年赤十字事業 (ジュニア・レッド・クロス JRC)	青少年の健全な育成を図るため、教員等を指導者として実施する各種の地域交流事業等に助成する。	小学校2校で実施	継続	青少年赤十字事業活動助成金を交付し、活動の推進を図った。	B	JRCの周知を図り、引き続き事業を実施していく。	社会福祉課	日本赤十字社
Ⅲ	5	117	放課後児童健全育成事業 (学童保育所)	保護者が昼間、家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、利用希望者の受入れ態勢の充実を図る。	5か所 大貴小学校区 飯野小学校区 青堀小学校区 竹岡小学校区 富津保育園	拡大	7団体（内補助金交付団体6団体） 延利用児童数 1,730名 平成25年度新規開設1か所	A	未設置小学校区の設置促進を行っていく。	子育て支援課	
Ⅲ	5	118	こどもチャレンジ教室	宿泊体験や他の体験活動を通して自主性、創造性、社会性を育てる。	実施	継続	中央公民館 5回 163名参加 市民会館 5回 87名参加	B	中央公民館 引き続き事業を実施していく。 市民会館 少子化に伴い学校以外の地域でも子供たちが集える機会をつくり、交流の場を提供する。	中央公民館 市民会館	
Ⅲ	5	119	都市公園整備	都市公園の整備及び施設の改修を行う。	実施	継続	ふれあい公園陸上競技場の改修を行った。	B	今後、予算確保を図るとともに施設の改修を実施してゆく。	街づくり課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 現 状	平 成 26 年 度 目 標	平 成 25 年 度 実 績	平 成 25 年 度 評 価	及 平 成 今 25 後 年 の 度 方 の 向 課 性 題	担 当 部 署	関 係 機 関
Ⅲ	5	120	児童遊園及び子どもの遊び場の整備	遊具の整備を進める。	実施	継続	遊具等の随時点検を行った。 遊具修繕 児童遊園 3箇所 6基 子どもの遊び場 6箇所 9基	B	子どもが安全に遊べるように定期的な見回りを継続し、事故等が無いように管理を行っていく。	子育て支援課	
Ⅳ	1	121	ふれあいスポーツフェスタ事業	市民の健康づくり、体力づくり及び親睦、交流を目的に、子どもから高齢者まで参加できるスポーツイベントを実施する。	年1回	継続	実行委員会方式により、競技内容を検討・実施した。 参加者数 3,100名	B	大会終了後に開催している実行委員会での反省点を次回に活かし、より充実した大会を開催していく。	体育振興課	スポーツフェスタ 実行委員会
Ⅳ	1	122	青少年問題協議会	青少年に関する施策の連絡調整を行う。	実施	継続	年1回（7月11日）開催 少年非行と不登校対策について実態把握した各団体の取り組み状況の連絡調整を図った。	B	青少年に関する施策の連絡調整のための青少年問題協議会を開催する。	生涯学習課	
Ⅳ	1	123	青少年相談員活動/ 青少年相談員連絡協議会	愛のパトロールや青少年のつどい大会を通して、地域活動等を担う青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図る。	実施	継続	青少年相談員数 65名 事業参加者 2,360名 青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図った。	B	青少年相談員相互の情報交換を行い、青少年の健全育成を図る。	生涯学習課	
Ⅳ	1	124	子ども会ジュニアリーダー養成	子ども会リーダーとしての知識・技術を習得する機会を提供する。	実施	継続	前期初級研修会の参加者 32名 後期初級研修会の参加者 28名	B	子ども会リーダーとしての知識・技術を習得する機会を提供し、子ども会リーダーの養成を図る。	生涯学習課	
Ⅳ	1	125	子ども会育成連絡協議会	子ども会相互の情報交換を行い、子ども会活動の活性化を図る。	実施	継続	理事会を9回開催し、子ども会活動の活性化を図った。	B	子ども会相互の情報交換を行い、子ども会活動の活性化を図る。	生涯学習課	
Ⅳ	1	126	学校体育施設開放事業	市における社会体育の振興、普及のために学校の施設を学校教育に支障のない範囲で一般市民の健全な余暇利用の場として開放する。	実施	継続	開放校 17校 利用者 79団体 1,838名	B	今後も市民の健全な余暇利用の場として開放していく。	体育振興課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
IV	1	127	富津市スポーツ少年団事業	地域に根ざしたスポーツ活動を推進し、もって郷土の未来を担う、青少年の心身の健全なる育成を図る。	実施	継続	市スポーツ少年団種目別交流大会 軟式野球、サッカー、剣道 県スポーツ少年団母集団研修会事業 体幹トレーニングについて 講師:日本コアコンディショニング協会 講師 秋葉有紀 甲州市富津市スポーツ少年団交流事業 1泊2日甲州市訪問 参加者3団体50名	B	友好都市の甲州市と富津市のスポーツ少年団員がスポーツを通じて交流し、親善を深めるとともにお互いの自然環境、文化の違い等友好都市の理解を深めることを目的に開催していく。	体育振興課	
IV	1	128	地域活動団体の支援	活動場所の提供など、団体活動の活性化に向けた必要な支援を行う。	実施	継続	富津公民館 64,857名 中央公民館 27,320名 市民会館 35,612名	B	富津公民館 課題として公民館活動には、地域住民の生活課題、地域社会の共通課題など、多様化する市民ニーズに応じた学習の機会を継続的に提供することが求められているが、人員的に限られた中で対応は厳しい状況にある。公民館活動は、今後も事業内容や学習手法等を十分検討するとともに、地域の利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、地域住民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努めたい。 中央公民館 地域の各種団体と連携し、誰もが参加しやすい環境作りが必要である。 市民会館 昨年よりも来館者が増えている。常に利用者の声に耳を傾け、新鮮な事業の企画・運営や快適に利用できる施設の管理に努める。	富津公民館 中央公民館 市民会館	
IV	1	129	「いいじゃないか!ふっつ」推進員	推進員(愛称:イフ推進員)は地域の宣伝役とパイプ役として、富津市社会福祉協議会並びに各地区社会福祉協議会と連携しながら次世代育成を促進する。	198人	拡大	推進員数 263名	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	社会福祉協議会 関係各課
IV	1	130	子どもに関する窓口の円滑化の推進	乳児健診、乳児医療、保育所、子育て支援、幼児教育、学校教育、学童保育、社会教育、地域支援、各種の手当の支給など、多種多様な市の窓口の一本化により、子どもに関する窓口の円滑化・効率化を推進する。	未実施	整備	子どもの総合窓口として、各関係部署への案内を行い円滑化を図った。	B	子どもに関する総合窓口として、各部署等への連携を図っていく。	子育て支援課	
IV	2	131	不妊相談センター事業(県事業)	千葉県君津健康福祉センターの不妊相談センターで相談事業を行う。	実施	継続	相談件数 1件	B	不妊相談事業の開催回数は平成26年度から月1回から隔月1回となる。	君津健康福祉センター	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本 目標	主要 施策	事業 番号	推 進 事 業	事 業 内 容	平 成 21 年 度 現 状	平 成 26 年 度 目 標	平 成 25 年 度 実 績	平 成 25 年 度 評 価	及 平 成 今 25 後 年 の 度 方 の 向 課 性 題	担 当 部 署	関 係 機 関
IV	2	132	不妊治療費助成事業（県事業）	千葉県特定不妊治療費助成事業を行う。	実施	継続	助成申請数 14件	B	引き続き事業を実施していく。	君津健康福祉センター	
IV	3	133	企業誘致の推進	優良企業の誘致・集積を図り、地元雇用の拡大、定住人口の増加に努める。	実施	継続	進出企業 0社	B	千葉県企業庁と連携のもと積極的に富津地区工業用地への企業誘致の推進を図る。	企画政策課	千葉県企業庁
V	1	134	土地区画整理事業 （青木土地区画整理組合施行）	良好な住宅地の確保を図る。	工事完了	事業終了	組合解散に向け、賦課金未納者分徴収及び清算金徴収・交付等が行われ、H26年3月に組合解散の認可を受け、清算事務が開始された。	B	清算に向け事業を進める。	街づくり課	
V	1	135	市営住宅管理	良好な住環境を確保するため、市営住宅管理上で必要な修繕を行う。	管理住宅数 196戸(H21.4)	継続	修繕件数 35件	B	老朽化が著しいため修繕費の高額化が予測されるため、今後は解体も含め対策を検討していく。	建設課	
V	1	136	道路整備事業（街路を含む）	良好な道路環境を確保するため、道路機能の向上と歩行者や通行車両の利便性向上を図る。	実施	継続	道路整備計画路線整備 L=3,760m延長実施 山王下飯野線 市道下飯野線 市道小久保岩瀬線	B	社会資本整備総合交付金事業により庁舎及び大貫駅周辺地区の整備を実施し、道路機能の向上と歩行者や通行車両の利便性の向上に向け道路整備を実施する。	建設課	
V	1	137	防犯灯新設事業	夜間における犯罪防止と通行の安全及び地域環境の保全を図るために、防犯灯を設置する。また、設置基準の設定を検討し、計画的整備に努める。	実施	継続	防犯灯70灯設置 （内16灯については、寄附）	B	引き続き事業を実施していく。	管理課	
V	2	138	幼児に対する交通安全教育	視聴覚教材を用い、安全確認の励行を促す。	実施	継続	実施回数 71回 延べ参加人数 2,950名	B	更なる交通安全教育の充実を図る。	市民課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
V	2	139	児童・生徒に対する交通安全教育	正しい歩行など交通ルールの基礎を実施する。 「自転車の安全な乗り方教室」を実施する。	実施	継続	実施回数 16回 延べ参加人数 1,578名	B	更なる交通安全教育の充実を図る。	市民課	
V	2	140	交通安全意識の浸透	「広報ふっつ」、「パトロールふっつ」、回覧などで、全国交通安全運動への参加など交通安全に関わる情報提供を行う。	実施	継続	年間を通じて交通安全運動時に掲載し、市民への周知・徹底を図り、情報提供を行った。	B	より一層の情報提供を図る。	市民課	
V	2	141	チャイルドシート啓発活動	各交通関係者と連携し、乳児健診・予防接種の会場でチャイルドシート利用の啓発活動を行う。	実施	継続	シートベルト着用月間及び各交通安全運動時に啓発活動を実施した。(4回)	B	より一層の情報提供を図る。	市民課	
V	2	142	幼児交通安全クラブ (ペコちゃんクラブ)	幼稚園・保育所(園)に通園する幼児・保護者でクラブを結成し、幼児の交通安全教育活動を行う。	実施	継続	実施回数 71回 延べ参加人数 2,950名 (V-2-138と同事業)	B	更なる交通安全教育の充実を図る。	市民課	
V	2	143	交通安全協会	地域活動の中核として、市民の自主的な交通安全活動を促進する。	実施	継続	各交通安全運動時における啓発活動及び街頭監視(市内主要箇所10か所)、各主要行事に協力した。	B	より一層の市民の自主的な交通安全活動を促進する。	市民課	
V	2	144	交通安全母の会	家庭における交通安全教育を促進するため、啓発活動を実施する。	実施	継続	運動時期に活動するとともに「4市交通安全母の会研修会」に参加した。	B	より一層の市民の自主的な交通安全活動を促進する。	市民課	
V	2	145	生活ゾーン規制	特に通園通学路、学校周辺などの交通規制の徹底を図る。	実施	継続	青堀小学校付近の横断歩道設置要望については、道路管理者と協議中。吉野小学校付近の横断歩道は、H26夏設置完了予定。その他竹岡・飯野小学校付近の信号機設置を検討中である。	C	各学校からの要望について、引き続き検討し、可能なものから対応していく。	富津警察署	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
V	2	146	共同現地診断による交通事故対策	事故多発地点において関係機関との共同の現地診断（調査）を実施し、道路交通環境の整備改善を図る。	実施	継続	平成25年度事故多発地点である市道交差点(ジャスコ南側入り口)の協議を重ね改良策を検討し、改善を図った。	B	事故多発地点において関係機関との共同現地診断を実施する。	市民課	
V	2	147	交通遺児等手当(Ⅱ-7-89 再掲)	中学生以下の交通遺児に対して手当を支給する。	実施	継続	受給者なし	B	引き続き事業を実施していく。	市民課	
V	2	148	参加・体験・実践型の防犯学習会の開催	保育所（園）や小学校での防犯指導・講話を行う。	実施	継続	学校・老人会等の要望・要請や当署からの依頼等により実施。 防犯講話 35回	B	引き続き積極的に防犯指導や講話を実施する。	富津警察署	
V	2	149	防犯意識の向上	広報誌「パトロールふっつ」の発行や、犯罪発生マップの発行を通じて、防犯意識の向上を図る。	実施	継続	「パトロールふっつ」 年4回発行 「犯罪発生マップ」 年12回発行	B	情報提供に努める。	市民課	
V	2	150	街頭パトロール	地区で結成された防犯パトロール隊と、関係機関が連携し、街頭パトロールを行う。	実施	継続	夏に青少年相談員との合同パトロールを実施。また、年末に関係機関、地区の防犯パトロール隊との合同パトロールを実施。	B	引き続き各団体と協力して、街頭パトロールを行う。	富津警察署	
V	2	151	子ども110番の家	地域の方にご協力いただき、児童の登下校時の緊急避難場所として設置する	実施	継続	市内378軒について依頼した。平成24年度と比較し戸数が増加している。引き続き、学校（PTAを含む）が中心となって進めており、地域関係団体にも協力してもらっている。	B	各学区内のこども110番の戸数が増加している。今後もより安心安全にするためにこども110番の設置数を増やしていきたい。地域の住民・関係団体にも働きかけ、設置の協力や推進を図りたい。また、表示版配付等の検討。	学校教育課	
V	2	152	富津市ファミリーネットワーク活動	事件・事故のない安全な生活環境を確保し、安心して暮らせる地域社会実現のため、富津警察署と社会福祉協議会、市内3地区区長会、㈱ファインズが覚書を締結し、子どもや高齢者に対する犯罪の被害防止と対策、交通事故防止を呼びかけるイベント開催などの「房総ファミリア新聞」への掲載、交通安全教室の実施を行う。	実施	継続	関係機関と協力し、子どもや高齢者を対象にキャンペーンや交通安全教室、防犯講話を実施。 交通安全教室・防犯教室 142回	B	引き続き関係機関と協力して、交通安全教室やキャンペーン等を開催する。	富津警察署	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後年の方向性課題	担当部署	関係機関
V	2	153	暴走族対策	警察による取締り強化や再発防止の指導のほか、暴走族追放に関する広報を行う。	実施	継続	現在まで集団暴走グループの把握はないが、週末に二輪グループ集団の走行が行われており、警戒・取締りに努めている。	B	引き続き取締りやパトロールを強化し、暴走行為の把握を目指す。	富津警察署	
V	2	154	幼児・児童・生徒への不審者対策	保育所（園）・幼稚園・学校では引き続き注意を払うとともに、警察や地域との連携を強化する。また、イフ推進員による小中学校の登下校時の見守りや、広報無線での呼びかけにより、子ども達が安全に帰宅できる環境を作る。	実施	継続	防災行政無線での取り組み、要保護児童対策地域協議会を通しての警察との連携強化を図った。学校教育課とも不審者情報の共有を図り、連携を行った。また、富津市安全安心メールの周知を行った。	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	学校教育課
V	2	155	保育所施設の環境整備事業	子どもの安全性・快適性から現状の整備水準を確保するため、計画的に施設の維持保全及び環境整備を実施する。	平成23年度新規事業	継続	施設改修工事 1施設 保育所（園）付近での放射線量測定毎月実施した。	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
V	2	156	保育所における防災体制の強化	災害時における安全な避難の実施や適切な応急体制が実施できるよう、体制の強化や設備の充実を図る。	平成23年度新規事業	継続	保育所施設の修繕、避難訓練を実施した。 防災学習会（峰上保育所）保護者28名参加	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	
V	2	157	防災体制の整備	大規模災害時において、迅速かつ適切な応急対策が実施できるよう情報収集及び伝達方法の充実・強化に努める。	平成23年度新規事業	継続	防災行政無線施設整備 1か所 自主防災組織設立促進 1組織 防災備蓄購入事業	B	区に対し自主防災組織設立を働きかけているが、計画通りに進んでいない。設立によるインセンティブを感じられるよう働きかけていく必要がある。	防災課	情報課
V	3	158	男女共同参画関連施策の推進	市男女共同参画計画に基づく各種施策を推進する。	実施	継続	広報紙「光風」vol.5発行 小中学生を対象に男女共同参画に係る図画・ポスター展を行い、男女共同参画意識の醸成を図った。 審議会において、今後の重点取組について意見を聴いた。	A	市独自のセミナー等を行う財源の確保が困難であるが、外部の支援事業等の活用を図り、継続的な情報発信に努める。	企画政策課	
V	3	159	両立支援制度の普及	広報等を通じて、市民に育児休業をはじめとする両立支援に関する各種制度の普及を図る。	未実施	実施	ホームページへの掲載や広報ふっつに掲載を行い周知活動を行った。	B	引き続き事業を実施していく。	子育て支援課	

【平成25年度評価】・・・A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」

富津市次世代育成支援行動計画平成25年度進捗状況調査結果一覧表

基本目標	主要施策	事業番号	推進事業	事業内容	平成21年度現状	平成26年度目標	平成25年度実績	平成25年度評価	及び平成25年度後の方向性課題	担当部署	関係機関
V	3	160	行政組織内の両立支援制度の普及	小学校就学前の子どもがいる職員に対する超過勤務の縮減、男女共に育児休業を取得しやすい環境の整備などを進める。	育児休業取得者 5名 育児短時間勤務取得者 2名 子の看護休暇取得者 1名	継続	育児休暇取得職員数 12名	B	平成24年4月に富津市特定事業主（後期）行動計画を策定した。今後は、本計画に基づき職員の仕事と子育ての両立の推進という視点から職員の子育て支援をより一層進めるものとする。	行政管理課	
V	3	161	子育て情報誌の制作	子育て家庭のライフサイクルに応じた情報と、子育てを支援する市民に必要な情報を網羅した、子育てに関する総合情報誌を制作する。また、ホームページを利用した子育てに関する情報提供を充実させる。	未実施	実施	子育て応援サイト「イクトモ」を官民協働事業により開始した。	A	「イクトモ」の広報を行い、利用率の向上を促進する。	子育て支援課	
V	4	162	母子自立支援員事業	母子家庭等への指導・支援や母子寡婦福祉資金の相談を受けるため、市の担当窓口に通2日、配置する。	母子自立支援員 1名配置	継続	週2回相談員を配置し、母子家庭等の相談支援に対応している。 相談件数 180件	B	電話相談、面談、家庭訪問により家庭支援を継続していく。	子育て支援課	
V	4	163	保育所入所に際しての優先的入所	単独世帯の母子家庭については、優先的に保育所入所の承諾を行う。また、課税状況により保育料の減免措置の活用を図る。	実施	継続	母子等単独世帯保育料免除世帯 38世帯	B	所得状況等を厳密に審査し、適切な処理を引き続き行っていく。	子育て支援課	
V	4	164	ひとり親家庭等医療費の助成（Ⅱ-7-86 再掲）	母子家庭・父子家庭の母（父）及び子どもに対して医療費の一部を助成する。	実施	継続	受給資格者数 807名 （内父子家庭21名） 受給者数 251名 （内父子家庭 3名）	B	受給資格の確認などを厳密化し、引き続き適正な処理を行っていく。	子育て支援課	
V	4	165	母子・寡婦福祉資金貸付（Ⅱ-7-87 再掲）	母子家庭・寡婦の福祉向上のための資金を貸付ける。	実施	継続	君津健康福祉センター 就学支度資金 0件 子育て支援課 相談件数 母子福祉資金 12件 寡婦福祉資金 1件	B	子育て支援課相談を受けたら、君津健康福祉センターへの円滑な引き継ぎを行っていく。	君津健康福祉センター 子育て支援課	
V	4	166	「母子家庭及び寡婦自立促進計画」の策定	母子家庭及び寡婦の自立支援計画を計画的に行うための基本計画を策定する。	未策定	策定	未着手	D	必要性の有無も含め、検討していく必要がある。	子育て支援課	

【平成25年度評価】…A「内容と規模を拡大」、B「内容と規模を継続」、C「一部着手」、D「未着手」